

## メキシコ 2024年のアボカド生産量予測は277万トン

[FreshPlaza 2024年4月9日](#)

メキシコの2024年のアボカド生産量は、旺盛な輸出需要を背景に2023年比5%増の277万トンと予測される。2023年の生産量は前年比4%増の265万トン、輸出量は前年比17%増の140万トンであった。米国はメキシコのアボカド輸出の81%を占める最大の市場であり、カナダ、日本、スペインがそれに続く。

**生産** メキシコ政府(GOM)の2023年のアボカド生産量に関するデータによると、メキシコは世界最大のアボカド生産国である。メキシコの2024年のアボカド生産量は、主に輸出需要に牽引され、前年比5%増の277万トンと予測される。メキシコの農業・食品・水産情報システム(SIAP)のデータによると、2023年の生産量は前年比4%増の265万トンであった。過去10年間、主に米国やその他の輸出市場からの需要の増加と国内消費の増加により、生産量は着実に増加してきた。

近い将来に生産量の増加が続くことを、好ましい栽培条件 - 温暖で湿度の高い気候と水はけの良い土壌 - と、伝統的な作物からより価値の高いアボカドへの生産のシフトが支えている。過去5年間で、生産者が作物を多様化してアボカドを取り入れたり、アボカド園を造成するためにトウモロコシ、小麦、牧草の生産を完全にやめたりしたため、ハリスコ州のバレー地域をはじめとして、アボカドの生産量が大幅に増加した。

SIAPのデータによると、2023年のアボカドの栽培面積(成園面積)は推定25万7,571ヘクタールで、2022年の25万2,133ヘクタールから2%増加した。栽培面積は2014年から2023年の間に46%増加した。

出典: [米国農務省GAINレポート](#)

## メキシコ産ブドウ アジアとオセアニアへの輸出を拡大

[FreshPlaza 2024年4月11日](#)

オッピー社(本社カナダ)は、2024年シーズンに向けてメキシコ産ブドウの取扱量を倍増させる計画で、これは同社の「365プログラム」の拡大に向けた取り組みにおいて重要な節目となる。

強化された品種のラインナップには、オータムクリスプ®やルビー®ラッシュなど、人気のあるサンワールド社の品種が含まれている。ブドウの収穫量の早期の評価では、これからのシーズンが有望であると予想されており、業界の生産量は2,200万~2,400万箱の範囲に収まると推定されている。

品目別担当の執行役員であるピアーズ・ハンベリー氏は、「4つの主要産地から調達し、出荷量を2倍に増やすことができ嬉しく思う。オブレゴン地区から始まり、エルモシージョ、アレマン、カルボルカの各地区へと進み、最高品質のブドウをさらに幅広く取り揃えて取引先に提供できる態勢を整えている」と話す。

同社は、効率と鮮度を最適化し、走行距離を減らしてトラックを利用しやすくするため、取扱量の20%にロサンゼルスとサンフランシスコの冷蔵施設を使用するようにサプライチェーンを再設計した。同社はまた、50%の株式を保有するデリカ・ノース・アメリカ社を通じて、輸出、特にアジア市場への輸出に一層注力することとした。

デリカ社のサプライヤー担当マネージャーであるカルロス・アルカサル氏は、「メキシコのブドウシーズンに向けて、アジアとオセアニアの市場を開拓する。オッピー社とのパートナーシップにより、各市場に適切な果実を届けることができる。中でも日本が重要な輸出先になると予想している。さらに、韓国とオーストラリアでの商機にも目を向けている」と述べた。(以下省略)

訳注: この翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。